



( )実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

Empty dashed box for reasons for not meeting plan target values.

( )改善に向けた取組み及び今後の見通し

Empty dashed box for improvement measures and future outlook.

団体名	北海道 七飯町
会計名	下水道事業特別会計

### 改善額

( ) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	15	20	24	26	37	122	75
実績(見込)値(B)	17	16	24	26	37	120	
乖離値(C) (B - A)	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0	2.0	45.0
乖離率(D) (C / A)	13.3%	-20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-1.6%	60.0%

( ) 要因分析

改善額合計の 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					合計	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
深刻な景気低迷等による有収水量の低下(料金減収)						-	
南渡島衛生センターからの下水道投入分		8				8	
観光施設、半導体製造業、食品製造業		5				5	
事業費の削減		-9				-9	
合計	-	4	-	-	-	4	

( )実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

世界的な経済不況が原因と考えられる景気低迷等により、平成20年度の計画有収水量に対し実績水量が落ち込み、有収水量の増加に対する料金収入の改善額の目標値に達しなかった。(平成20年度実績)

- ・平成20年度計画有収水量 2,816千 $m^3$  (公共 2,524千 $m^3$ 、特環 292千 $m^3$ )
- ・平成20年度実績有収水量 2,689千 $m^3$  (公共 2,411千 $m^3$ 、特環 278千 $m^3$ ) 127千 $m^3$ の乖離
- ・平成20年度計画料金収入額 341,732千円 (公共 299,379千円、特環 42,353千円)
- ・平成20年度実績料金収入額 330,463千円 (公共 290,003千円、特環 40,460千円) 11,269千円の乖離

なお、前年度の下水道使用料調定額ベースで比較すると、観光施設(ホテル)、半導体製造業、食品製造業の大口で5,477千円の減額、南渡島衛生センター(一般家庭等の汲み取りし尿下水道投入)で7,883千円の減額となっている。(合計 13,360千円の調定減額)

( )改善に向けた取組み及び今後の見通し

有収水量については、現行計画どおりの水量で推移するものとしているが、料金収入のさらなる増加につなげるため、水道事業給水停止処分とあわせ下水道使用料(滞納繰越分)の徴収強化に向けた取り組みに努めている。

1. 水道料金・下水道使用料未納者への取組状況

	平成19年度処理状況(延件数)	平成20年度	平成21年度(7月末・延件数)
督促状発送件数	6,010 件	6,104 件	2,055 件
催告書発送件数	1,982 件	2,143 件	0 件
給水停止予告書発送件数	112 件	220 件	30 件
給水停止通知書発送件数	98 件	142 件	19 件
給水停止執行件数	34 件	57 件	2 件

2. 給水停止処分等により収入確保につなげた額

	平成19年度	平成20年度	比較増減(H20-H19)	平成21年度(継続中)
水道料金	3,892,130円	6,203,670円	+ 2,311,540円	1,525,960円
下水道使用料	1,881,260円	3,038,020円	+ 1,156,760円	503,310円
計	5,773,390円	9,241,690円	+ 3,468,300円	2,029,270円



( )実績(見込)値1が計画目標値に届かない理由

平成21年度から平成22年度迄の間、実績(見込)値1が計画目標値に届かない理由として、

平成20年度の企業債発行額の計画額は、275.4百万円に対し、実績で287.7百万円、差引き12.3百万円が計画額を上回り、また計画では、平成20年度企業債発行額のうち、資本費平準化債及び特別措置分の借入条件中、元金償還の据置期間をみないで(0年)試算していたところ、実際の借入では、据置期間を1年設けたため、平成21年度以降の企業債現在高が計画目標値を上回る結果となった。

	平20 (計画値)	平20 (実績額)	差引額		平成20年度	平21元金償還	平22元金償還	平23元金償還	
建設債	90,300	90,400	+ 100	償還内容	計画 残高	18,510	18,510	18,510	
平準化債	154,500	166,700	+ 12,200		実績 残高	0	21,924	21,924	
特別措置分	30,600	30,600	0		差引 (実績残高 - 計画残高)	12,200	30,710	27,296	23,882
借換債		(293,300)	(293,300)						
計	275,400	287,700	+ 12,300						

( )改善に向けた取組み及び今後の見通し

計画最終年度の企業債現在高計画目標値を達成するため、平成21年度で予定している資本費平準化債の発行額を調整し、企業債発行額の抑制を行う。

当該年度企業債発行額の計画額と実績(見込)額による企業債発行額の抑制額

	平21 (計画値)	平21(当初予定)	見直し後	差引額(平21分)	平19差額分	平20差額分	抑制額合計
	A		B	=B-A			~
建設債	99,300	89,900	89,900	9,400	+ 2,600	+ 100	6,700
平準化債	166,900	172,900	169,000	+ 2,100	32,500	+ 12,200	18,200
特別措置分	30,600	30,900	30,900	+ 300	600	0	300
借換債		(83,400)	(83,400)	(0)			
計	296,800	293,700	289,800	7,000	30,500	+ 12,300	25,200

団体名	北海道 七飯町
会計名	下水道事業特別会計

### 累積欠損金比率

( ) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)						
乖離値(C) (A - B)						
乖離率(D) (C / A)						

( ) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)	
	計画目標値算出時(A)	実績見込値算出時(B)
分母(営業収益等)		
分子(累積欠損金)		
累積欠損金比率		

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額(百万円)	備考
合計	-	

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因
	計画目標値(A)	実績見込値(B)		
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
合計			-	

( )実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

Empty dashed box for explaining reasons for performance not meeting targets.

( )改善に向けた取組み及び今後の見通し

Empty dashed box for describing improvement measures and future outlook.



団体名	北海道 七飯町
会計名	下水道事業特別会計

## その他

### ( ) 計画及び執行状況の公表状況

承認計画： ホームページ(平成20年3月)、町広報誌 平成20年4月号で公表  
執行状況： ホームページ(平成21年8月)

### ( ) 計画及び執行状況の議会への説明

承認計画： 平成20年第1回定例会(平成20年3月6日開会)  
執行状況： 平成20年度決算審査にて報告を予定